

家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和6年1月5日発行

今シーズン国内6例目

岐阜県で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認！

1月5日、岐阜県山県市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の疑似患畜が確認されました。

今シーズン、国内で6例目の確認となります。

発生の概要は以下のとおりです。

1 発生農場の概要

所在地：岐阜県山県市 飼養状況：約5万羽（肉用鶏）

今回の発生場所

岐阜県山県市

2 経緯

- ・1月4日、農場から死亡羽数が増加している旨の通報を受け、農場への立ち入り検査を実施。鳥インフルエンザの簡易検査を実施し、陽性であることが判明。
- ・1月5日、遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。



飼養衛生管理基準を順守し、ウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします

- 農場での人や車両の出入の際の消毒等の徹底
- 野生動物（野鳥など）の農場への侵入防止対策の徹底
- 飼養家きんを毎日観察し、万が一、飼養家きんに異常を発見した場合は、**すぐに担当獣医師もしくは当所までご連絡ください**

最上家畜保健衛生所 電話：0233-29-1357

今般、鹿児島県の事例ではオオクロバエからもウイルスが検出されています。今冬は暖冬のためハエ対策も重要です！家きん舎への侵入防止の徹底を！

- 死亡鶏を家きん舎等に放置しない
- 家きん舎の金網や防鳥ネット（吸気口）、鶏糞等を殺虫剤処理する（冬期間も最低月に1回）

